

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院  
第 19 回地域連絡協議会議事録

【日 時】 2024 年 5 月 17 日（金） 14 時～15 時

【場 所】 大会議室（中央棟 6 階）

【議 題】 I 新任委員紹介

II 地域医療連携に関するデータ報告 加藤室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料 1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料 2

III 「形成外科診療 Up to Date 熱傷、熱傷後瘢痕

リンパ浮腫の手術治療 乳房再建 眼瞼下垂」

形成外科部長 加藤 敬

IV 討論

V 閉会

【出席者】（以下、敬称略、五十音順 職名は別紙参照）

青木一郎、ウィンターロード俊江、加藤雅通、喜多村隆、近藤広見、真田昌代、鈴木理、成田英里、西本和生、根崎涼介、服部真樹、日比野正範、森下千恵美、渡邊一弘

【欠席者】

大島伸一、柴田真一、村上京子、村川公一、矢田篤司

【当院出席者】

後藤百万、加田賢治、大野稔人、木下敦士、伊藤和幸

【当院欠席者】

林英司、真弓俊彦、河嶋知子

【開会挨拶】

（後藤院長）

本日はお忙しいところ第 71 回中京病院・地域医療支援委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。毎回申し上げているような気もしますが、前回 2 月の支援委員会から早や 3 か月という事で本当にあつという間に時間が過ぎるという感じです。

さて、私共にとって最も大きな最近のトピックは、やはり 6 年振りのトリプル改定となった令和 6 年度診療報酬改定かと思えます。

御承知のように、0.88%のプラス改定になったとはいえ、医療関係職種のベースアップ、すなわち賃上げ分が+0.61%ということで、実質的には非常に厳しい改定と思っています。正直なところ、私共の病院にとっては、収益増につながるポイントはほとんどないように思っています。

マイナ保険証を始めとする医療 DX の推進を図るための改定は大きな特徴のひとつと思いますが、最も衝撃を受けたのは急性期病床の見直しと地域包括医療病棟の新設です。まさに地域における医療連携、機能分担を強力に推し進める方策が盛り込まれたと感じています。実際、重症度、医療・看護必要度の見直しにより JCH057 病院のうち、15 病院位が 7 対 1 の急性期病床を維持できなくなっています。高齢者の誤嚥性肺炎、尿路感染症、心不全などの高齢者救急疾患はもはや 7 対 1 の病院では診ないと言わんばかりに、高齢者救急対策として初診診療後の救急搬送に関する救急患者連携搬送料（いわゆる下り搬送）が新設されましたし、地域包括医療病棟が設けられました。中京病院は地域医療支援病院として、従来からも診療所、連携病院との連携を進めてまいりましたが、今回の診療報酬改定では、「地域における医療連携や機能分担を本気で進めなければどの医療

機関もやっていけなくなる」ということを突き付けられたような気もしています。当院も6月からの診療報酬改定に向け、高齢者救急における下り搬送については連携施設に私自身が訪問して、連携協議をさせていただいているところです。当院は高度急性期・急性期病院、また3次救急を担う救命救急センターとしての役割をさらに進化させるとともに、地域医療支援病院として地域における医療機関の連携・機能分担の推進に尽力したいと存じますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

(ウィンターロード委員長)

今年度から南区医師会会長に就任いたしました。先生方にお目にかかる機会がさらに増えるかと存じます。今後ともご指導、ご伝達賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(加藤委員)

今年度のトピックスとして診療報酬改定があります。プラスとなった0.88%のうちの0.61%をスタッフの処遇改善に充てることと、初めから診療報酬の内容の使い道が決められているが、本来、診療報酬というのは、医療機関の医療行為への対価であり、建て替えやスタッフへの給与といったものの総額に対する報酬である。どのように采配するかというのは医療機関の経営者の判断に委ねる形であるべきであり、本来の診療報酬のあり方としては間違っているという認識である。このようなことになってきたのは財務省が医療機関に対し内部的なことにまで干渉をしはじめているという状況である。

これは中医協が、診療報酬改定の内容を支払い側、診療側、学識経験者の3者で話し合っていていく中に、財務省の影響の及んでいるということであり、今後の医療側にとって暗雲の垂れ込めるような状況になっている。

今、日本の医師数というのは今まではOECDの中で見ると少なかったが、地域枠の医師を作ることによって医師数が増やされてきており、今年の医学部の卒業生採用数が9403人となっている。非常に多くの医師が養成されているが、このペースで増えていくと、今後、医師が過剰になるという懸念が出てきている。

現場の医師としては、とても過剰だと思えない、医師不足で基幹病院では困っていると思われるが、その背景には医師の偏在という問題がある。医師が大都市の開業医等に集中しており、いわゆる僻地には、医師が来ていないという問題があり、そういったことに対して、財務省が自由会議である中医協に手を加えるべきと言い出してきており、医療界に対しては国の財政が厳しい状況だから、我慢が必要という論調で、財務省が会議を重ねている状況であり、これは医療界にとっては注意をしなければならないという状況である。

(服部理事)

地域医療包括病棟について、以前の会議で話を出したが、名古屋市南部の病診連携の関係機関の話では、なかなかそれに手を出せる病院がなさそうとのこと。国としては下り搬送をやっていこうとしているのかもしれないが、なかなか手を出せる病院がない。だから、どういう病院が手を上げるのか興味を持っている。

国の方針として、地域医療とか紹介受診重心重点医療機関の中で、壁地医療というのもあり、先程地域枠の話が出たが、地域枠を取っても、その通り進んでくれない医師もおおり、そのため地域枠はだんだん減らされてくると予想されるが、僻地医療はやれということで、国の方針がうまく機能するのかと考えている。

この春からは働き方改革のこともあり中京病院も大変だと思われる。さらに、産休、育休、介護休暇まで考えると、本当にどうなってしまうのか。そこで、やはり今まで通り機能分化を推進して、状態の落ち着いた患者はクリニックで、急性期や最先端の治療が必要な患者は病院の方でしっかり

注力していくのがよいと思っている。そのため、引き続き逆紹介をしっかりと進めて、お互いに良い連携関係が続くといいと思う。

## I 新任委員紹介

(鈴木修委員)

まだわからないところが多いが、皆様に教えていただいで頑張っていきたいと思っている。

(西本和生委員)

今年度、委員会参加は、川村会長から副会長へ変更になる。この委員会で色々学び、また地域医療に貢献していきたいと考えている。

(森下千恵美委員)

南区は市内で最も高齢化率が高いということで、医療、介護、福祉の連携が重要になっている。このような状況の中で、中京病院が地域医療をしっかりと支えているので南区民も安心して暮らしていけると考えている。

(渡邊一弘委員)

4月から南区消防署で、前任は瑞穂消防署長で移動となった。名古屋市の救急搬送について、当初は令和10年に15万件を超えると予想していたが、令和5年に15万件を超え、令和6年になっても毎月1割増しくらいのペースで出動が増えている。現状では市内の7つ三次救急の医療機関も軽症患者も受け入れているため成り立っているが今後も工夫をしながら運用していくしかないと考えている。

(矢田篤史委員) \*欠席

## II 地域医療連携に関するデータ報告 (加藤室長)

### 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移 (資料1)

#### 地域医療支援病院報告事項一覧 (資料1-1)

##### ◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は62,780人、入院患者延数は40,158人、稼働病床利用率は78.7%、平均在院日数は11.7日、在宅復帰率は98.4%となっている。

##### ◆ 紹介・逆紹介実績

初診患者は4,096人、紹介患者数2,605人(紹介率63.6%)。逆紹介患者数は4,217人(逆紹介率103.0%)となっている。

##### ◆ 救急実績

救急患者総数は4,097人、入院しなかった数は、3,033人でその割合は74.0%。

入院した患者は、1,064人、26.0%は入院となっている。

救急搬送の患者は、1,643人。救急車以外のウォーク in とされる患者は2454人、小児救急患者の数は622人。

##### ◆ 紹介率・逆紹介率・初診患者 (資料1-2)

初診数 1月1381件、2月1339件、3月1376件

紹介率 1月58.4%、2月65.1%、3月67.4%。

逆紹介率 1月92.0%、2月102.1%、3月114.8%

### 2) 病診連携 (受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等) (資料2)

◆FAX・Web2023年度（1～3月実績）（資料2-1、2-2）

FAX・Webの予約状況では、眼科、消化器科、泌尿器科、循環器内科が多い。  
検査においては、従来どおりCT・MRが多く次いで心エコー検査が多い。

◆開放型病床利用（資料2-3）

第四四半期では2月に稲坂医院からの皮膚科の利用があったのみ。

3) 退院支援（資料3）

◆2023年度退院支援件数・転帰（資料3-1）

退院患者数 13,769件 退院支援件数 4,916件

退院支援 4,916件のうち死亡 102件、転院 1,188件、施設 468件、自宅 3,158件

転院、施設の内訳は資料3-2参照

≪質疑応答≫

（加藤委員）

開放型病床データ減少は、中京眼科と関連があったと思うが、どんな状況だったのか？

（後藤院長）

ほとんどが中京眼科からの白内障の手術での利用だったが、中京眼科が手術を日帰りで行うようになったことが大きな原因であると考えられる。また、中京眼科との連携が少し疎遠になってきている。

Ⅲ「形成外科診療 Up to Date」 形成外科部長 加藤 敬

≪要旨 - スライドより抜粋≫

- ・熱傷、熱傷後瘢痕
- ・リンパ浮腫の手術治療
- ・乳房再建
- ・眼瞼下垂

≪質疑応答≫

（加藤委員）

乳癌の術後のリンパ浮腫の患者について、オペではない保存療法の場合は形成外科に紹介すればよいのか。

（加藤形成外科部長）

元々、当院副院長であった外科の松田先生がフォローしていたが、一般外科とも血管外科とも分野が異なるため、今年4月から形成外科でフォローするようになった。

現在のところ、リンパ浮腫に対する保存療法が保険適用になっていない。そこが非常に問題で、現状では看護師の努力頼みとなっている。収益化するため松田先生も検査も行っていましたが、そこも形成外科で行っている。

マッサージについては点数が取れないため、人員の配置はできない。そのため、マッサージをするクリニックを紹介したり、やり方を教えたりして、フォローアップを行っている。

弾性ストッキングについては補助金が出るので、そのためのフォローを行っている。

それに加えて手術適応の患者もいるので、それらを紹介していただければ、形成外科でフォローは行うが、現状では看護師の負担が大きくなっており、今後も調整が必要となっている。

#### IV 討論

特になし。

#### V 閉会

#### 2024 年度 地域医療支援委員会開催予定

- ・次回の地域医療支援委員会は8月16日（金）に開催予定

**第71回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域医療支援委員会**  
2024年5月17日（金）

院外委員

NO	委員(フリガナ) (五十音順・敬称略)	職名	新任	備考	出欠
1	青木 一郎 (アキ イチロウ)	南区歯科医師会長		医療関係団体	出席
2	ウインターロード俊江 (ウインターロード トシエ)	南区医師会長	○	医療関係団体	出席
3	大島 伸一 (オオシマ ノブイチ)	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	欠席
4	加藤 雅通 (カト マサトシ)	愛知県医師会副会長		医療関係団体	出席
5	喜多村 隆 (キタムラ タカ)	明治学区連絡協議会名誉会長		市民代表	出席
6	近藤 広見 (コトウ ヒロミ)	名古屋市南区訪問看護 ステーション所長		医療関係団体	出席
7	真田 昌代 (マサタ マサヨ)	善常会リハビリテーション病院 事務部長		医療関係団体	出席
8	柴田 真一 (シバタ マサイチ)	緑区医師会長		医療関係団体	欠席
9	鈴木 理 (スズキ リ)	天白区医師会長	○	医療関係団体	出席
10	成田 英里 (ナリタ エリ)	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療関係団体	出席
11	西本 和生 (ニシモト カズオ)	熱田区医師会副会長	○	医療関係団体	出席
12	根崎 諒介 (ネザキ リョウスケ)	医) 山口病院 地域医療連携室室長		医療関係団体	出席
13	服部 真樹 (フクリ マキ)	名古屋市医師会担当理事		医療関係団体	出席
14	日比野 正範 (ヒビノ マサノリ)	南区薬剤師会長		医療関係団体	出席
15	村上 京子 (ムラカミ キョウコ)	瑞穂区医師会長		医療関係団体	欠席
16	村川 公一 (ムラカワ コウイチ)	知多郡医師会長		医療関係団体	欠席
17	森下 千恵美 (モリノダ チエミ)	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長	○	医療行政代表	出席
18	矢田 篤司 (ヤタ アツシ)	港区医師会副会長	○	医療関係団体	欠席
19	渡邊 一弘 (ワタナベ カズヒロ)	名古屋市南消防署長	○	医療行政代表	出席

出席： 14名

院内委員

NO	委員(フリガナ)	職名	新任	備考	出欠
1	後藤 百万 (ゴトウ マネウ)	病院長		病院代表	出席
2	加田 賢治 (カダ ケンヂ)	副院長		"	出席
3	大野 総人 (オノ ソウジン)	副院長		"	出席
4	林 英司 (ハヤシエイジ)	副院長		"	欠席
5	真弓 俊彦 (マユミ トシヒコ)	副院長		"	欠席
6	河嶋 知子 (カワシマ トモコ)	副院長兼看護部長		"	欠席
7	伊藤 和幸 (イトウ カズユキ)	薬剤部長		"	出席
8	木下 敦士 (キノダ アツシ)	事務部長		"	出席

出席： 5名